

2011 年度地球市民ひろば

さんぴんカルチャー×地球市民ひろば vol.2「沖縄・うむ（芋）、来し方行く末」

- ◆日時：2011 年 11 月 5 日（土）19：00～21：30
- ◆場所：真南蛮さんぴん食堂
- ◆ゲスト：エヴィリンさん（フィリピン）、ノッコさん（タイ）、ブランドンさん（ハワイ）
- ◆参加者：28 名（スタッフ・ゲストを含む）
- ◆担当：岸本

◇うむ（芋）クイズ

ーいもの生産地（世界各地アジア、南米、アフリカ等）やいもを主食とするパプアニューギニア・ハニャック村、台湾のヤミ族についてのクイズを出題

◇ゲストスピーカーのお話

ーエヴィリンさん（フィリピン）

フィリピンで食されている、ヤムイモ、タロイモ、キャッサバなどを使ったデザートや料理を写真とレシピもあわせて紹介した。いものデザートカモテキュー（Camote Cue）を実際に作ってきてくれたので、試食も行った。

ーノッコさん（タイ）

タイでも複数種類のいもを食べる。様々な種類のいもの写真といっしょにそれぞれの芋の食べ方を紹介してもらった。芋を使ったタイカレーとタピオカとココナッツで作ったタイのデザートも紹介、みんなで味わって食べた。

～お食事タイム（40 分）～

メニュー：サツマイモサラダ、紅芋ポタージュ、田芋コロケ、ナシゴレン、ジャガイモの挟み焼き

今回は各国の芋料理という形ではなく、芋の様々な食べ方を体験してみようというもの。

◇ブランドンさん（ハワイ）

ハワイではいもは最初のご先祖様。その神話にまつわるいものお話をしてもらった。また、ハワイの有名なワイキキビーチもかつては芋畑が広がっていたなど、いもの歴史や今ハワイでよく食べられているいものお菓子、いも料理（Laulau, poi, imu）を写真を交えて紹介してもらった。

◇儀間初子さん（沖縄）

珊瑚舎スコーレの夜間中学の儀間さんには、沖縄のいものお話をしてもらった。戦後の沖縄は食べるものが全然なく、朝、昼、晩、毎日いもばかり食べていたという。戦後のまた幼いときにいもばかり食べていたので、もう見たくもないと話していた。

◇ブランドンさんによる芋の時代（琉球民謡）

戦後作られた、芋の時代。戦後の厳しい時代に芋を食べて苦難を乗り越えてきた沖縄のことを唄った民謡。ブランドンさんに三線と共に唄ってもらった。

また、最後にはブランドンさんが唐船ドーイも演奏してくれ、参加者とゲストスピーカーみんなでカチャーシーをして終わりました。

—参加者の感想

- ・すごく楽しかったです。料理もどれもおいしかったし、次回期待しています。
 - ・あたたかい雰囲気とおいしい食事とたのしい沖縄の方々、ゲストの方々に感謝
 - ・初めて来ましたが、とてもたのしいございました。このあとなんかいもきます。ありがとうございました。
 - ・楽しかったです。フィリピンの方の笑顔はすてきですね。タイの料理はやはり本格的。芋の世界の広がりを感じました。タームのコロッケ、スープおいしい！夜間部の方のお話、もう少し聞きたかったです。戦争中の話など。
- 初めて参加しました。どの料理もとてもおいしくいただきました。特にナシゴレンとジャガイモのはさみ焼きがお気に入りになりました。東南アジアやハワイの芋のことや沖縄の戦前戦後の芋についてのお話もとても興味深いものでした。
- ・店のふんいきが良かった。スタッフも客も対応が良かった。
 - ・芋にもいろいろな食べ方があるのをしり勉強になりました。とてもおいしかったです。
 - ・いもでつながる世界、おいしく、また明るい人々でしあわせなひとときでした。
 - ・芋のいろいろな異なった食べ方、お料理を学ぶことができました。全部のお料理、とてもおいしかったです。
 - ・食べ物のお話をすると盛り上がります。みなさんは楽しそうに参加してて、自分もまた参加したいと思っています。いろんなところの話を聞いたらとてもおもしろかったです。
 - ・とても充実した時間を過ごすことができました。次もまた来ます。さんびん食堂、シャムにも行きますね。
 - ・一人で参加してドキドキでしたが、参加出来てよかったです。第1回のこーれーぐーすもとても気になるので、またいつか参加してみたいです。
 - ・タイやハワイやフィリピンにあったいもは、日本にもあり、普通に食べていたいものと同じな物も多くあったけど、国によって調理方法がちがっていてすごいなと思いました。
 - ・今はとってもうれしかった。本当に本当にありがとうございました。
 - ・すごくおいしくて、いもがこんなにいっぱいあるとは思いませんでした。すごくよかったです。ありがとうございました。